

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス にこここパーティ		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 11 月 5 日		～ 令和 6 年 12 月 5 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和 6 年 11 月 5 日		～ 令和 6 年 12 月 5 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 6 年 12 月 20 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所全体でのミーティングを毎日行い、日々のこどもの様子や状態の把握が出来ていること。 毎月担当を決めて勉強会を行い日々の支援に生かせるようにしている。	活動の様子や状態を職員全体で報告や意見を出し合い、視点に偏りがないようにしている。 情報の共有や支援の統一を図るために、ミーティング記録を行い、ミーティングへの参加が出来ない休日の分も後日確認できるようにしている。 職員間の勉強会での感想の交換や、日々の支援の中で褒め合い、お互いを認め合う機会があることでチーム内で意見を出しやすい雰囲気が出来ている。	保護者との面談や会議での話や他の事業所や関係機関の情報も、会議に参加していない職員も分かるように、会議の記録以外に集約したまとめを作成し、事業所全体で周知していくようにする。 勉強会で学んだことを事業所全体で取り入れ、支援に生かす努力を続けていく
2	月に1回母子療育を行っている。 保護者との関わりが送迎時以外にも母子療育や親子での外出活動などで密に出来ている。 母子療育後は振り返りを行なっている。	母子療育や親子での外出活動の際は、事前に悩みや困り、ニーズを聞きながら対応方法を考えている。 親子が楽しく活動し一緒に楽しい時間を過ごすことで、一緒に成功体験を得られるようにしている。 母子療育では親子での遊びや子どもへの声かけ方法やタイミングを具体的に示している。 振り返りの時間は20分～30分以内で行ない、母親からの聞き取りを重点を置いている。	親子が事業所以外の家庭や職員等がない場面でも出来るような遊びや活動の提案を幅広く行い、家庭でも取り組みやすい方法を提案していく。 職員全体で家族支援を行えるように情報の共有を行っていく 父子との関わりも具体的に伝えられるよう、母親以外に父親や祖父母の参加も検討していく。
3	事業所全体の職員が一体となって子どもたち一人ひとりが楽しめる活動や支援方法を考え、その支援に積極的に取り組んでいる。 園庭が広く、大型トランポリンや大型プールがあり外活動が充実している。法人が営む農場に山羊やにわとりを飼育し、動物との触れ合いが日常的に出来る。	前月に翌月の活動計画を活動計画が計画し、職員間でミーティングを行っている。 動物とのふれあい活動を定期的に行い、相手への思いやりを養えるようにしている。	それぞれの仕事の配分や内容を毎日の打ち合わせに入れながら、それぞれが協力できる関係性の構築に努めていきたい。 広いフロアも生かせる活動の提案を職員全体で意見を出し合い取り組んでいく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等のマニュアルすべてを職員全員が把握出来ていない。 児童発達支援のガイドラインの周知が出来ていない。	非常時のマニュアルについての周知する機会や時間の確保が出来ていない。 児童発達支援のガイドラインの把握への職員の積極的関与が出来ていない。	管理者は、事業の運営規定の重要事項を職員全員に説明するほか、運営方針の設定や見直しに当たっては職員全員が積極的に関与できるように配慮を行う。その中で、非常時災害マニュアル、児童発達支援のガイドラインの説明を行う機会を設けていく。
2	本人に合った支援の必要性は理解しているが、その支援方法や支援ツールの理解が出来ていない。	職員全体で支援プログラムや児童発達支援の提供すべき支援の内容等について理解が出来ておらず、統一した支援の継続が出来ない。	児童発達支援計画に沿って、それぞれの子どもの障害種別、障害の特性、発達の段階、生活状況に細やかに配慮しながら支援を行うために、定期的なカンファレンスや、日々の打ち合わせを必ず実施し、職員間の共通理解を常に図る。 専門性を高めるために、外部の研修等に積極的に参加出来るように勤務体制を整える。
3	職員配置は出来ているが職員数に余裕がない。	求人を出すタイミングや方法が固定化している。 常時見守りが必要な子どもへの支援のために、児童指導員又は保育士について、人員配置基準を上回って配置することも考慮することが必要である。	求人の方や手段を検討し、タイミングや求人掲載期間を調整していく。